

## 宮古崎

宮古崎は、奄美大島西岸に位置する高台の岬です。国直集落の近くにあるこの岬は、青い東シナ海に向かって突き出しています。強い西風によって植物の生育が妨げられるため、岬の先端には大きな木は生えていません。この岬には耐寒性を持つツツジの一種であるタイワンヤマツツジと広葉竹の一種であるリュウキュウチクが一面に生えています。リュウキュウチクは地元でササントと呼ばれており、昔はその葉が屋根の葺き替えに使われていました。これらの植物は丈が低いため、岬のほとんどの場所からは全方向にひろがる山々や険しい海岸線、サンゴ礁の景色が一望できます。1月から3月にかけては、岬周辺の海でクジラが潮を噴く様子が見られます。地元の漁師は、波が穏やかなこの場所が良い漁場であり、強風で船が出せないときには、岩礁で貝を集めることもできると言います。

### 岬に向かってハイキング

ハブという毒蛇が島全域に生息しており、ほとんどの地域がハイキングには危険であるため、ここは島内に数少ないハイキング向きの場所のひとつです。最寄りの駐車場から展望台までの1.5kmの舗装道路や、岬を縦横に通る海へと続くいくつかの道をトレッキングできます。

### ラスト サムライ

宮古崎は、この島に2年間身を潜めた謎の多い武士、西郷隆盛（1828-1877）をテーマにした連続テレビドラマのオープニングが撮影された場所です。西郷は日本では偉人として扱われており、渡辺謙とトム・クルーズが主演した2003年のハリウッド映画『ラスト サムライ』のモデルでもあります。